

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	自治会に加入して行事に参加していることで、地域の一人として交流がある。保育園児との交流やボランティアの受け入れも日常的に行い、入居者と職員の楽しみや励みに繋がっている。今後はホームの行事に地域の方やボランティアに参加してもらえようしたいと話合っている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	運営推進会議は概ね2月に1回開催している。参加者は市職員、市民代表、家族、法人代表、管理者である。家族の意向や意見を踏まえた状況報告に加え、専門職の方が家族におられ安全な歩行についての話しをいただく場にも活用している。家族のアンケートに対応する取組みも職員間で話し合い、次回開催に向けて準備をしている。	×
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	市の窓口へホームの現状や変化を報告している。尾張旭市の事業者会議が月に1回あり、参加をして指導や情報を得ている。市の協力がある認知症の勉強会を医師が開催する機会にも参加し、市の介護相談員の受け入れもあり関係を築いている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	日々、笑顔のある暮らしを大切に、入居者に寄り添った言葉かけから、本人の要望を受け止めている。家族とは面会時に詳細な状況報告をしている。家族との信頼関係を築き、要望や意見を出してもらえよう、また、不安や疑問があった場合は、速い解決に向け取り組んでいる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広いウッドテラスの両側に木造建築のホームがある。木のぬくもりと香りがする共用スペースの何処からも見える中庭は柿、金柑、柚子が生長を競い合っている。中庭で育つ夏野菜は収穫できる喜びや調理する楽しみ、食べる喜びが入居者と職員の笑顔となっている。一人ひとりを大切に尊重した支援で自然に笑顔が出るように、家族には面会や行事に参加してもらい協力いただいている。各ユニットの管理者は就任して日が浅いが、これまでの良いところを伸ばし、新しい取組みにも力を合わせてより一層地域に溶け込むホームにしたいと笑顔で答えられた。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。